

く、比喩でない血で、看護婦連も怒り出し、もつと元気のよい人をまわせし事務所へ電話するも人間が足りなくて、看護婦連に腹を述べろれた奴ばかりしかいないような状態だった。

四〇〇〇円あれば一週間女郎屋へ泊り続けられるので、二、三日もすれば体は回復するが、上（赤い血）と下（白い血）でよくも頑張っていたものだ。ヤリ一筋の武士だよ？とにかく病院の住来が女郎屋街を通るのだから

その内容が吸血鬼の実態なのだ、

一カ月五〇〇〇円だが、ちなみに我がの実家は母・妹・弟・祖母の四人で九〇〇〇円を生活していた。苦しいことは分かるが、生活保護が四人で六〇〇〇円しかおらず、後は内職で三〇〇〇円がやっとなのだ。まさか母に血を売れとはいえない、かといって我が家に帰れば生活保護金はストリップされるといふ矛盾があるのだ。仮に我が八〇〇〇円かせいたとすると、母の三〇〇〇円で一万一〇〇〇円、ちひ二人小卒で、養床の祖母、色気の付いたこのあんちゃんがどうなるかは学者の君にまかせ。当時、ア力で首になつた奴を使用する奴はいなかったのだよ、だから親不孝のようでも寄りつかん方がお互いのためであり、たまに少し小遣いでもやればいいあんちゃんだったのだ。

ちと外れたが、外交するのは、血を売る人を集め、買収病院を確保することにある。

吸血鬼の子分になつて知つた実態は

白い血は二にはならんが夢がある。赤い血のことも心配して、真面目に頼めて女房でも賣うことになり、吸血鬼に相談したら、子分になれという。一食増して三食付きで五〇〇〇円くれるというので、考えたがウマイ汁を吸わせるということ、翌日から日本医療の外交員ということになった。

全てが新規であれば一割の歩合が付く。こんな笑いの止まらな歩合を付けて、その他五〇〇〇円の固定給と三食カンダ（ネルコト）付き。しかしすでに決まるところは一円もくれない、が買手売り手のどちらかでも新規であれば五%なり。

まず、要領を覚えるために先輩と病院まわしして看護婦を覚える、この場合、付け届けは自前になる。各医療協会の電話番号は看護室にペタペタと貼つてある。しかしそんな処へ毎日付け届けなどしていてもラチがあかないし、それらは切り捨て、マイペースの線で行く。まず、オヤ（手術）の予定を調べ、下端の看護婦がよく知つている手術室を使う都合で、そこへ付け届けをして控えておき、その病棟へ直ぐに行つてその係の看護婦に全力でその一部を取つてしまふ。

大きな協会は柄柄に届えて電話連絡を待つているので、その型と型が分つたら我が会へ電話して人柄を掴んでしまふ。そして待たし

とけば、最悪でも半分は採ってくれる。その際に買手は悪く確保して行き、売手は一割増しで他の食のを引く張る。こんな簡単なことで面白いように集まってくる。

一割増しだから売手からは歩合は付かないが、買手の付くから5%はあることになるし、二、三度目からは売手は自分の兵隊として押えておけるので、そのうちにガバーツともうかることは分っている。

他の会は四〇〇円か四五〇円だったところが多い(いすれも一〇〇の単位)。ところが病院から会費受取る額は、キヤッシュで七五〇円で月末は八〇〇円だった。輸血は患者側が払うのは一二五〇円。まあ人のもうけを計算してもしゃあない。

新しい 吸血鬼の目録II 二万八千円(当時)

病院は色々と薬を使用するのでよいとして、会は当時一日一万三〇〇〇〜一万五〇〇〇

いた。

吸血鬼などオヤジをあまり突つけない我々も毎晩焼酎ビールへ連れて行って貰ったものせ。我々の代は二、三〇〇〇円位あったのではないか。これは人は変われど毎晩だから大変だ。

しかし、こんなちっぽけな組織でも月に五六〇万のもうけがある。我々が、一カ月、現在だと一五万から二〇万かせぐのだから、今の一〇〇〇万円以上の金だ。

我々カンタしている人間は、夜間注文がくると、酒を飲んでままの血を抜いてしまう。出も良くてこちらばかりが得者がどうか？ 当時、淋病の奴が多くいた。そんなバイドフの血を、酒の濃ったみぞ汁みたいなの。比重のない、詰とせば沈む事もなくういてしまふ、わたのよう軽い、血を輸血して患者はほんとに助かったのかと思議に思う。まあこれは買う方が悪いし、こんな色をしていて

事務員が五人、一人に五〇〇円払っても三〇〇〇円足らず、平均一万四〇〇〇にして三万円の収入が吸血鬼のフトコロに入る。毎日三〇〇〇円の付く届付などしてないが、一〇〇〇で二五〇円のもうけ、一万四〇〇〇で三万五千円かな？ 人のセエの勤定は弱いがこの家の奥さんも何かと事務手伝いをしていたので、オヤジと我々を足すと八人になる。五〇〇〇円端にして四〇〇〇円、それに三千円の届付物としても、二万八〇〇〇円が日せこで入ってくる。

当時、一万五〇〇〇円以上の月給取りは一人前だろう。洋間と賤れを提供したとて一月三〇〇〇円から五〇〇〇円まで六帖四帖半の間が借りられた。一帖五〇〇円の相場だった。これだもの笑いが止まらない。この家には大学行ってる息子二人と女学生が一人と古い人が生きており六人家族だった。売血人は五〇人から一〇〇人位が毎日顔を出し、その他は電話待ちしている裕福な家らしい人も

も血には変わりはないので、売る人には罪はない。

こうして段々売血生活者が増えてくる頃昭和二七、二八年頃からヒロポン中毒が多くなり、採血前でも平気な顔で打つので輸血された患者の方に事故があり、段々とうるさくなくなった。売血者は簡単ではあるが一応事前検査を受けることになり、病院側も一人から二〇〇と量を決めるようになり、一〇〇と六五〇円(これは売血者の手取りで、会は一〇〇円だった)から七〇〇円と上がった。一応七〇〇円で、一人二〇〇と一四〇〇円という相模になつていった。この頃は土方の手間も五、六〇〇円となり、なんでも少しずつ上がった。

何故そんなに安いに血を 売るのがかじり考えてほしい

この前あなたへ編集委員下のことの手紙を「四〇〇と一四〇〇円というのは本当の話

です。フザケタことと思えます。すつと上が
つてないんですよ、四年間もーとあつた。な
にを對象に四年間も上げつてないというのか
知れないがあなたの場合四年前からという
なら分かるが、私の以前あなたに差上げたハガ
キにて、一四〇〇円(四〇〇cc)はほんとう
ですか？昭和二八年頃は二〇〇ccで一四〇〇
円だった、と書いたのですよ。上がるどころ
か半値になったのではなかりか？ あなたはと
つても若いようだが、変なことをいわないで
真実にこの差額を研究して、もつとまじめに
證りを知る必要がある。

この雑誌は左翼系には関せず一般読者の
ために 参考に 嘆き溜り情報として編集さ
れてると思はばこそ、何かの参考になればと
売血のあまりの安さに證りをおぼえ、与衰世
心を通じ一人でも多くの読者が(特に売血
者か)もつと真摯に生きる気持になつて頂き
たい。何故そんな安い血を売るので？ 何
故安くなるのか？ どうすれば良いのか？

普通一本二〇〇ccの注射器を抜く、今のよ
うに保管技術が進んでないので、割とくなん
てことをせず、オペの時に売血者を捕らとい
てその隙隙に採血をするが、その血が患者へ
輸血される前に固まらないうちに一〇ccニ
ccの——名前を忘れてしまつたが——リンゲ
ル刺のような奴を採血する時に注射器の中へ
先に入れて血を抜く、そうして二〇〇cc
を抜くので実際は一八〇cc一八九〇cc位しか抜
いでないことになる。

それをネタにして一〇〇cc七〇〇円を一回
引きにして六二〇円にしてしまい、二〇〇cc
で二二〇〇円になった。

文句をいう人もいたが、その頃には協会で
は暴力団まがいのチンピラ共にボン代などく
れていざの用意にしていたので、一〇〇ccで
七、八〇円位どうでも良いという人も多く、
一〇〇cc廿二〇〇cc位抜くと体の調子が良い
などといきがつたバカが無料で抜きにくる人
もいた。そのような人は、月に一、二回体が

きえて絞しいとねがう故に、我も古くことを
思い出しつつその裏面を暴露してゐるので
下手なことを書くがこの中から上手く編集し
て読んで取ってやつて絞しい。仕事がないか
ら生きるために売血するんだ位は分かるが、ど
う思いますか？

ちと外れたが、私は三〇年頃までしか知ら
ないが、一応一人二〇〇ccまでとして一四〇
〇円となり、今は病院からは一〇〇ccで八五
〇円交通費込となつていた。

要するに売血者が何回となくストをやつて
ピンハネを少なくさせたのだ！

そのストの手段は巧みで、注文を受け病
院へ出かけていった売血者が、オペ(手術)
寸前にドロンをしよう。これは大変なこ
となのだ。こんなことを平気で売血者は共同
で行なつた。そして何処の協会も共同で安定
して来た処がこれでは看護婦連への付け届け
ができないので段々とおおしな手段を講じる。

だるいといつては抜きにくる、感念なバカだ
つた。どのような神経か知らんがボクボクと
そんな人が一〇人近くもあり、その様な人が
くるとお茶を出して大勢の前でこれ見よがし
にする。吸血鬼も「みなさんのようにみぞ汁
の如き薄い血とちびい、健康なこつくりした
血が無料では、病院もさぞや喜びますよ」と
いうことをコトバたくみに述べるので、鬼の
痛い奴が大勢いる。

その頃は売血者も増えて来たので、売血者
にはことかかず、買手に回つていた。別にこ
の体のわるい云々の人の血は当人は無料でも、
風：はちやんと病院からはゼニは取る。

値下げが始まつて

からの日々の現実

こんなところへ、横浜から粉末にして保管
して置くので等々でも血をかうという話があ
れて来た。

ところが、値は三五〇円一〇〇ccというこ

と見つけたが、身体とそれとも良いという人間が、安定所（病室）からぞくぞくと現われた。一人二〇〇〇円までと制限されるが、七〇〇円の現金を並んで荷つていければ二時間位でもものになる。一日働いて五〇〇円（夫対半）、或るも六五〇円だから、誰でも集まつてYKQ。

この機会にまたも会の値下げが始まつた。会長のようにして一日が始まるかというところ、この頃は、昭和医大、日大、慈恵大、東女大、広尾病院、千葉大、共済病院等の大きな病院をセ、ハフと他の協会などとかう合つており、町医者の小さい処や産婦人科などは別口の人がまわるとして、この大口の病院へハ戻まで一カ所に一人の割を出かける。病院の手術は九時頃から始まる（大きいのは午後が多い）。前夜から病院の看護婦は介つていたので、各協会（血液センター）へ、その看護婦主任が気に入りのところへ電話を

円差額を払い、売血者には四〇〇〇〜五〇〇〇円、だから一日で三〇〇〇円になる。産後の人で毎日一〇〇〇位輸血する人も頼んでいるので、産科のちよつとしたところも、一〇〇〇や二〇〇〇の求いと注文のある時もある。病院を通してやると一ニ〇〇〇円払うので、医院でも利得があるしするので、一度信用を得ると以後は直接注文を貰える。

血の手配師 もぐりのもぐり暗躍

こんなことをしているうちに、味をしめ、狩猟者の溜りである職安へ出かけて行きた人数を集めて一〇〇〇〜四〇〇〇〜五〇〇〇円で売血者を集め、自分産で勝手に会からカードを出して来て始める、もぐりの下のもぐりが、方々の職安を当て込んで商売する者が増えてくる。それだんだんと暴力団くすれみだいのが若める様になり、仕事の嫌いな奴を集めてトバクを始め、イカサマの借金を押し付けて、

する。そうすると、病院で待つている我人会のボスから連絡が入り、何型何の何番より注文あり、日本医大から誰々を廻す、旨いづて来る。

そのうち八時半とか午後とかの指定時間までに、病院へ例のカードを持って指名された者がくる。一語にオヤ三〇分前位に指定室へ行き、抜いた者は主任看護婦からカードの裏へ日付と何に担当人の印を記して貰い、会計へ電話して貰い、その場で一〇〇〇〜八五〇円の全額を受け取るが、売血人には決めた金額だけをその場で払つてやり、後の差額は外交買取持つて帰ることになる。

時間が早い時は、看護婦に聞いてその病院傘下の小さい医院などを紹介して貰つて取りして簡単な電話連絡をしておいて、入院患者の希望者などへ買つて貰う様にする。このようにな小さい医院だと、一〇〇〇〜一〇〇〇〇円と値が良いので、この種な小さい処をまわる方がヨロクがある。会の方へは一〇〇〇〜二〇〇〇

その人間を安く会へ売ることになる。

ちなみに人夫が一〇〇〇円、バク手の借金を賣うと、この人夫に二〇〇〇円やるからどの条件を付けて二〇〇〇を採血さす。そして当人には一ニ〇〇〇円で買つた勘定になり、ヤクザは六〇〇〇円払う。結局、会は二〇〇〇〜八〇〇円で買つたことになる。

こんな連中がほとんど送られてくる様になり、中には逃げてしまふ者もいるのでヤクザから五〇〇〇円を買うようになる。そして人夫には三〇〇〇円出す様にするが、そこには色々ありこんなバク手などの出爪はかなり安くなり、二〇〇〇〜五〇〇〇円でも良いから買つてくれと前売する奴も出てくる。まさか体をバクツテおく訳にはいれないが、意外とザリ堅く連日ちゃんと来る。

まあそんなこんなで血の値ははつきりしないようになつていった一時期はあつたが、三九年頃は一応一〇〇〇〜六五〇円というのが一般的であつた、ということだ。今回はこれだ